

# 平成 22 年度自転車安全点検全国普及活動事業報告

昭和 42 年から続いているこの事業は延べ 321,850 会場で 71,287,419 台の自転車を点検しました。

当協会は平成 22 年度事業で、自転車消費者安全対策推進事業の一つとして「自転車安全点検全国普及活動」事業を行いました。この事業は使用過程にある自転車の点検促進を図るため日本自転車軽自動車商協同組合連合会（日商連）傘下の都道府県自転車商協同組合と連携して、自転車技士・自転車組立整備士・自転車安全整備士の資格を有する組合員の協力を得て、全国 44 都道府県において学校、街頭、自転車小売店、公共施設などの会場で実施しました。

平成 22 年度は 3,472 会場で使用過程にある自転車 495,640 台を点検し、講習会は 351 会場で行われ、自転車利用者に対して点検整備励行と乗用安全意識の高揚を図り、自転車安全利用促進、自転車事故防止に取り組みました。

## 自転車安全点検全国普及活動（平成 22 年度）

- ・「拠点型安全点検」 学校、公園、街頭等で行いました。

学校、警察や地方公共団体等からの要請を受け協力して実施しました。日商連傘下の組合員が点検をして整備が必要な自転車に要整備箇所を示した安全点検カードを付け、自転車専門店での修理を促しました。延べ 3,159 の会場で使用過程にある自転車 465,368 台を点検しました。



### 【3,159 会場の内訳】

小学校 1,368	中学校 952	高校 288	公園街頭 209	公共施設 159 等の他 208
-----------	---------	--------	----------	------------------

- ・「店舗型安全点検」 日商連傘下組合員の自転車小売店で行いました。

313 会場で、延べ 1,296 の自転車小売店が 30,272 台の使用過程にある自転車を点検しました。実施している自転車小売店はのぼり旗を掲げ来店を促しました。点検後は要整備箇所を安全点検実施伝票に記入して使用している自転車の状態をユーザーに報告しました。

- ・「安全点検講習会」 学校、警察、地方公共団体等が参画する催事会場で行いました。

警察による交通安全教室などの催事会場で、日商連傘下組合員が日常点検・整備の重要性、正しい自転車の乗り方や交通ルール・マナー等を題材とした講習を述べ 351 会場で行いました。

### 【351 会場の連携先内訳】

自治体 46	町内会 12	学校 204	警察 56	その他 26
--------	--------	--------	-------	--------

安全点検カード(表・裏)



のぼり旗



安全点検 実施伝票



以上



この事業は競輪の補助金を受けて実施しました。

[http:// ringring - keirin.jp](http://ringring-keirin.jp)